

## 「神戸学院大学心理学研究」の創刊に寄せて

神戸学院大学学長 佐藤 雅 美

このたび、2018年4月に有瀬キャンパスに本学10番目の学部として新設されました神戸学院大学心理学部の研究紀要として、「神戸学院大学心理学研究」が創刊されることとなりました。本学にまた新たに専門的な研究成果の発信の場が生まれましたことは誠に喜ばしいことであります。

心理学部は、心理専門職で初めての国家資格である公認心理師の誕生を契機として、人文学部人間心理学科（2004年4月開設）を改組し、公認心理師対応カリキュラムを擁する兵庫県下唯一の心理学部（2018年4月時点）として開設されました。前身の人間心理学科では、2007年10月に開設された「神戸学院大学心理臨床カウンセリングセンター」における教育・研究・社会貢献活動をはじめ、「子育てサロン・まなびー」の運営への協力など、地域・社会貢献活動を積み重ねてきました。新設された心理学部でも、これらの活動が継承され、学部開設のモットーである「社会に生きる心理学」を实践する上で活かされていくこととなります。また、心理学部は、本学の特徴である医療・保健・福祉系の4学部6学科が合同で実施する専門職連携教育（IPE）にも参加し、医療・福祉分野の専門職連携でリーダーシップを発揮できる人材の育成にも力を入れていくこととなりました。

来年度、2019年4月には、大学院人間文化学研究科心理学専攻を改組する形で、心理学研究科修士課程、博士後期課程が開設されます。修士課程では公認心理師の養成に特化した教育が展開され、博士後期課程ではこの分野における研究者の養成を目指します。

ところで、21世紀社会は、AIの普及、超スマート社会の到来、少子超高齢化社会、働き方改革、人生100年時代、ダイバーシティ等々の言葉が飛び交う不確実で予測の難しい時代に向かっています。そのような中であって、心理学という学問領域が、時代を読み解き、予測の難しい時代を生き抜く智慧としても重要な役割を果たすものと考えられます。まさしく、「社会に生きる心理学」が試される時代になるでしょう。

このたび、創刊された「神戸学院大学心理学研究」を通じて、心理学の基礎研究から実践的な先端研究に至るまで、学界をリードし、社会の発展に寄与しうるような研究成果が数多く生まれることを祈念いたします。心理学部が、教育・研究・社会貢献のすべての分野において、文理融合型総合大学である本学の新たな牽引役として活躍されることを期待しつつ、「神戸学院大学心理学研究」の創刊を心よりお祝い申し上げます。